

愛知県内初！「小1の壁」の課題を解消！ 「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」を開始します

大府市は、児童を学校の始業前から体育館内で預かる「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」を2学期から愛知県内で初めて開始します。

このモデル事業により、児童が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、保護者の育児と就労の両立をサポートし、いわゆる「小1の壁」の課題解消につなげます。運営は、シルバー人材センターに委託し、高齢者が知識・経験を生かして児童と関わることで、地域での活躍の場を創出し、貢献寿命の延伸にも寄与します。

※ 国の「こどもの居場所づくり支援体制強化事業」補助金を活用するもので、令和7年度に同補助事業を利用した同様の事例は、本市と仙台市の2自治体のみです。



写真左：大府市立共和西小学校（体育館）



写真右：シルバー会員が児童の見守りを担当

■「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」の概要

実施校・場所／共和西小学校（大府市共西町 1-206）体育館

石ヶ瀬小学校（大府市江端町 6-99）体育館

実施日／2025年2学期開始日（9月1日）～3学期末（3月24日）の平日

※冬休み、暴風警報等発表時、卒業式などの行事日は実施なし

実施時間／午前7時～午前8時（昇降口解錠時間）

対象児童／保護者からの事前申請により登録した児童 ※登録証を配布、保険加入

登録児童数（2025年6月18日～7月4日の期間募集）

共和西小学校：26人（20世帯）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
5人	6人	7人	3人	4人	1人	26人

石ヶ瀬小学校：20人（15世帯）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
5人	2人	9人	1人	3人	0人	20人

利用料／無料

運営形態／公益社団法人大府市シルバー人材センターに委託

シルバー会員（各校6人程度）を1日3人配置する。

予算額／歳入 273 万円（国の「こどもの居場所づくり支援体制強化事業」補助金を活用）

歳出 273 万円（2校：共和西小学校・石ヶ瀬小学校）

運営の流れ／

※通学団の集合時間は変更なし

時刻	児童	シルバー人材センター（見守り員）
6:30～7:00	—	・開門、体育館の解錠、居場所の準備
7:00～8:00	・登校（保護者送迎） ・体育館でタブレットによる自主学習・読書・折り紙などをして過ごす	・体育館で受入、見守り
（昇降口解錠） 8:00～8:30	・昇降口を経由し、教室へ移動	・児童に昇降口へ行くよう声掛け ・体育館の片付け ・利用人数などを学校に報告し業務終了

緊急時の対応／シルバー人材センターの見守り員から保護者へ連絡

※ 9月8日（月）から取材していただけます。取材を希望する場合は、事前に大府市学校教育課（電話：0562-46-3331）までお知らせください。この事業は、事前予約制でないため、当日の利用人数に増減がある点ご了承ください。

【問い合わせ先】

大府市学校教育課

担当：水野 恵朗（ミズノ ヨシロウ）

電話：0562-46-3331 FAX：0562-44-0020 メール：gakkyo@city.obu.lg.jp